

# 麻しん（はしか）患者の発生について

令和8年4月15日作成  
山梨県感染症対策センター

令和8年4月14日（火）、富士・東部保健所管内の医療機関から同保健所に麻しん発生の届出がありました。管轄保健所の調査により、周囲に感染させる可能性のある期間（注）に利用した施設があることが判明しました。不特定多数の方と接触している可能性がありますので、広く注意喚起するものです。

（注）発症日の1日前から、解熱後3日間を経過するまでの間

## 1 患者情報

富士・東部保健所管内在住 20代 女性（渡航歴あり 麻しん予防接種歴なし）

主な症状：発熱、発疹、咳、頭痛、目の痛み

発症日：令和8年4月5日

受診日：令和8年4月10日

解熱日：令和8年4月12日

陽性確定日：令和8年4月15日

## 2 周囲に感染させる可能性のある期間に患者が利用した施設

日付	利用時間帯	利用施設
4月5日(日)	10時34分発～11時00分着	富士急行線都留文科大学前駅～富士急行線大月駅
	11時05分発～11時42分着	JR中央線大月駅～JR中央線高尾駅
	18時53分発～19時29分着	JR中央線高尾駅～JR中央線大月駅
	19時41分発～20時02分着	富士急行線大月駅～富士急行線都留文科大学前駅
4月6日(月)	16時30分頃～17時00分頃	お弁当どんどん 都留店
		ツルハドラッグ 都留文科大学駅前店

- 施設への直接のお問い合わせは御遠慮ください。
- 麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以内と言われていますので、現時点で上記施設を利用しても、感染の心配はありません。

## 3 患者と接触した可能性がある方へ（注意喚起）

- 麻しん患者と接触（同一空間を共有）した場合は、潜伏期間（発病までの期間）を考慮し、接触後21日間の健康観察が必要です。
- 上記日時に当該施設をご利用された方で、発熱、発疹等の症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に「麻しんかもしれない」ことを連絡のうえ、医療機関の指示に従い受診してください。
- 過去に麻しんにかかったことがあるか、予防接種歴があるかをご確認ください。
- 受診の際は、周囲の方に感染させないよう公共交通機関等の利用を避けてください。
- 心配なことなどがありましたら、最寄りの保健所にご連絡ください。

※本情報提供は、感染症の拡大防止のために行うものですので、報道関係者各位におかれましては、感染症法の趣旨に則り、患者やその家族・関係者について本人が特定されないことがないよう、また、施設に対する風評被害がないよう格段のご配慮をお願いします。

## 麻疹

### ●麻疹(はしか)とはどんな病気？

・麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。肺炎などを併発することが知られているほか、1,000人に1人の頻度で起きる重い合併症に「脳炎」があります。

### ●どんな症状があるの？

・典型例では、感染の約10日後に発熱や風邪症状、2～3日発熱が続いた後、39℃以上の高熱とともに発疹、咳が出現します。

### ●どうやって感染するの？

・麻疹ウイルスは、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播します。麻疹は感染力がとても強く、学校や会合など集団生活の場で多数に感染が広がることがあります。春から初夏にかけて流行しやすい時期で、連休など人の移動が多い時期には広域に感染拡大するおそれがあります。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

### ●治療方法と予防策は？

・発症すると特異的な治療法はなく対症療法が中心となります。中耳炎、肺炎など細菌性の合併症を起した場合には抗菌薬の投与が必要となります。

#### ・麻疹の最も効果的な対策は、予防接種です。

・確実に麻疹に対する免疫を得るには、2回の予防接種が必要です。

・予防接種法によって公費で接種できる対象年齢は、1歳児及び小学校就学前の1年間です。この定期接種の対象者には、お住まいの市町村から問診票などが配布されます。定期接種が受けられる医療機関については、お住まいの市町村にお問い合わせください。

・麻疹の予防接種に使用されるワクチン(医薬品)には、麻疹風疹混合ワクチン(MRワクチン)があり、生ワクチンに分類されますので、妊娠中の方は接種を受けることができません。また、接種後2か月は、胎児への影響を考慮し避妊する必要があります。ご注意ください。

## ●海外渡航の際の注意事項

・麻しんにかかったことが明らかでない場合、渡航前には、麻しんの予防接種歴を母子健康手帳などで確認し(※)、2回接種していない場合は予防接種を検討してください。

※麻しんの既往歴や予防接種歴が不明の場合は抗体検査を検討してください。

・帰国後には、2週間程度は麻しん発症の可能性も考慮して健康状態に注意してください。

## 参考

県内の発生状況（麻しん発生届数）

	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
全国	186	279	744	10	6	6	28	45	265	236*
山梨県	1	2	2	0	0	0	0	0	0	2*

\*感染症発生動向調査による。令和8年の値は14週（3月30日～4月5日）の累計速報です。

\*山梨県の令和8年の値は4月13日時点の届出数です。

## その他の参考情報

・厚生労働省ホームページ「麻しん」

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html)

・国立健康危機管理研究機構ホームページ「麻しん」

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/measles/index.html>

・山梨県ホームページ「麻しん」

<https://www.pref.yamanashi.jp/kansensho/55791366442.html>